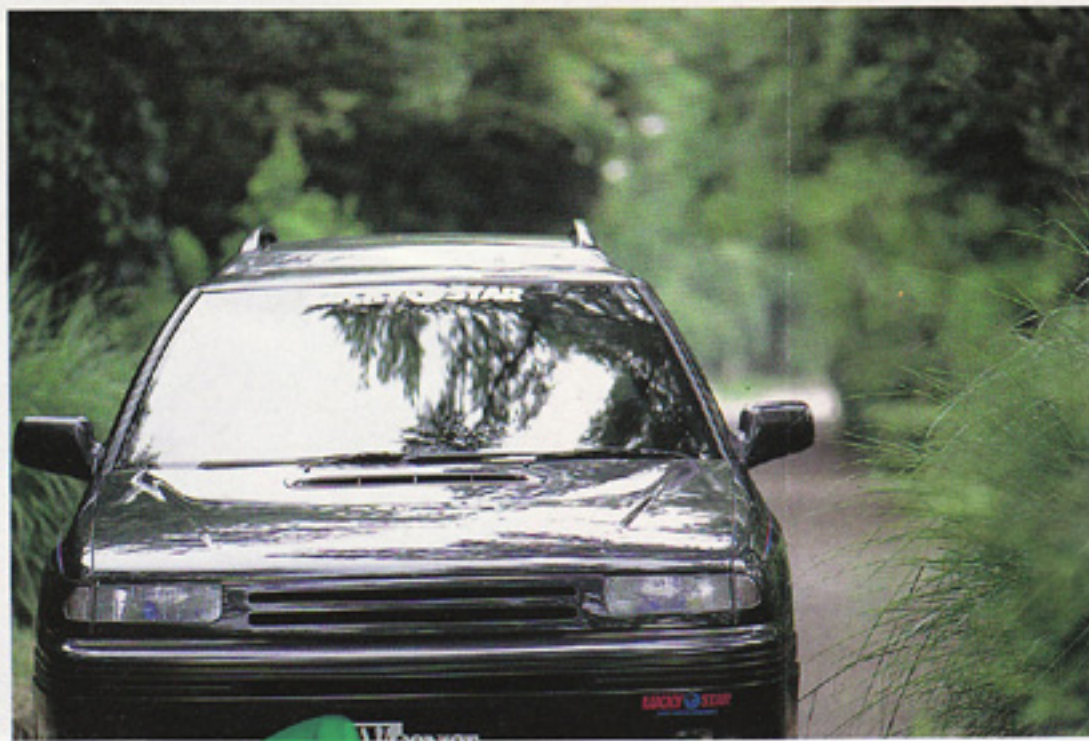


FACE MAKE MAGIC



●(写真右)ラッキースター・マスクキット/レガシイ用¥34,000 ●(写真中上)エアロパーツコーナー0120・47・7360 ●(写真中下)スピードワゴン・フェアログリル/タイプ1/レガシイ用¥32,000 ●アルテア¥36,748・8511 ●(写真左上)トライアル・Fグリル/インプレッサ用¥26,000 ●(写真左下)プロバ・エアログリル/レガシイ用¥35,000 ●プロバ¥03・3421・3621



スポーティーに振るなら スリットがメッシュ

Fグリルは、基本的にはエアロパーツメーカーがパッケージングの一端としてリリースするケースが多く、ひとつのエアロアイテムのように肉厚で、スタイリッシュなデザインのものが多い流となっている。今やワゴンのフェイスを、スポーティムード満点にリメイクするにはなくてはならない存在というわけだ。

そのなかで、現在二大潮流となっているのが、シャープなスリットの入ったタイプと、分厚い縁のなかに細かいメッシュを施しめくらししたタイプ。どちらも、スポーティカーが文字どおり願望するくらいの精神をフェイスを演出し、ワゴンを確実にホトスポーティブと近づけてくれる。

Fグリル、プラスαで 一体感を強調する

Fグリルを完全にドレスアップパーツとしてとらえるなら、いろんなアレンジが当然考えられる。その典型的な例が、Fグリルにプラスαのアイテムをドッキングさせてしまうというものだ。たとえば、今月号の第2特集で紹介しているエクストフォースがプロデュースするFグリルは、上部のラインをそのままグッとコーナーカーをそのままだけ伸ばして、アイライン風に見せている。また、お馴染みラッキースターの旧アコード・ワゴンは、Fグリルと4灯風ライトカバー&コーナーカーレスといった具合に、一石三鳥の役割を果たしている。

光りモノのビルトインが アメリカンへの近道!

アメリカンスタイルを目指すなら、光りモノをうまく使いこなすことが第一条件。まずホイールがその入り口だとしたら、Fグリルはその次のステップといえるだろう。ローライダーにせよ、ハイテックにせよ、グリルに光りモノをビルトインすることがやはり定番スタイルとなっている。アメリカンなイメージを明快かつ効果的に強調したいなら、ゼビとも押さえておきたいポイントだ。

また、ひとりで光りモノといっても、ビレットとメッキのふたつのタイプがあることを覚えておいてほしい。最近流行の兆しを見せるビレットは、質感たっぷりの落ち着いた輝きを放つのが特徴。それに対してメッキのほうは、キラキラと輝くポップなイメージが強い。どちらをチョイスするかは、キミのドレスアップの方向性次第ということだ。

グリルレスで 超個性的なフェイスに

最後にちよつと付け加えておきたいのが、Fグリルは「あるもの」として決めてかからないことだ。もともとあるFグリルをこうしよう、ああしようとかえるのも大切なことだが、基本にかえて考えてみると、Fグリルをなくしてしまうという方法もあるはず。つまり、グリルレスにしてしまうことだ。これは本来のスタイリングを大きくイメチェンしてしまうものなので、ワンポイントで使うのは逆効果かもしれない。中途半端にしてしまうと、イメージダウンにもつながりかねないので、しっかりとしたトータルバランスが必要になってくる。

GRILL MAKE

●(写真右)ロコバナナ・Fフェイスマスク/トーラス用¥28,000 ●バナナ推進事業部0566・22・7788 ●(写真中上)エアロガレージ・ヨコハマ・ビレットグリル/アコード用¥58,000 ●エアロガレージ・ヨコハマ044・888・2884 ●(写真中央下)シア・ロクラブ・Fグリル+ボンネットスポイラー/レガシイ用¥48,000 ●オートランド・シア・ロ075・983・6910 ●(写真左)PV-4・メッキグリル/カルティナ用¥25,000 ●ジェービー03・3655・9056

